

かがやき

令和2年10月14日(水)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 7

後期のスタート・一步一步「豊か」に「楽しみ」を

キンモクセイの花が散り始め、秋も少しずつ深まっています。例年以上に季節の移り変わりを感じる今日この頃です。また、子どもたちと話していると数か月先の誕生日に何をもらおうか。サンタさんに何を頼もうか。水曜日に何をして遊ぼうか等々。日々の「楽しみ」をもって生活していることに気が付かされる日々です。後期が始まりました。3月まで長い道なのですが一步一步日々の生活の中に自然の「豊かさ」心のなかに自分の「楽しみ」を感じながら進んでいければと思います。後期もよろしくお願いいたします。

「遊びの学習」をとおして・かかわりの場の設定

前期の後半から試験的に中休みの時間を使って「遊びの学習」という場を設定しています。中休みにかがやきの教室を不定期に開放し、遊べる時間にしています。子どもたちには「遊びの学習」と説明し、道具を使う時に先生の許可をもらう。いろんな友だちと楽しくかかわる。気持ちの切り替えをする。時間を守る。等のことを主なルールとして行っています。子どもたちの中には「休み時間」という時間をどのように過ごすか「こまる」子もいるようです。「遊びの学習」の中で意図的に利用に来た子たちをかかわらせるようにもしています。お互いに声をかけ合うミニボミントンやカードゲーム。順番を守りながらのバランスボードシェア。「～君に教えてあげて。」「誘ってごらん」「後輩だからね。優しく声をかけてあげて」等教師がそれとなく上級生声をかけながら少しずつ新しいかかわりが出来ていく場面もあります。中には、「ピアノをひかせてください」と言ってかがやきではない子がピアノを弾きにくることもあります。遊びの「場」を通して新しいかかわりや日ごろのかかわりのルールについて自然に意識できることは素敵だなと感じる場面が多くあるので、今後も様子を見守りながら少しずつ進めていきたいと思っています。

みんなで決めよう「折り合って」

後期のグループ指導の中では「話し合って決める」学習に入っています。各学年においても「話し合い」は難しい活動の一つです。普段の教室での学級会や班活動の中ではなかなか時間もとれない場合も多そうですね。また、話し合いのプロセスについてはそこまで意識していないことも多く、そのため「多数決」がみんなで決めるための中心的方法の一つと考えている子もいるようです。「折り合う」決め方とは辞書で調べると「互いに譲りあって意見の食い違いを解く」「互に譲り合って協調・妥協すること」とあります。ここに至るためには①みんなで集まる②みんなが意見を出す③意見を聞く④「どうする?」「どうしよう」と話す。⑤みんなで決める。というプロセスと時間が必要です。そして、この番号のすき間に「相手の意見を否定しない」「嫌な言い方をしない」「決まったことに従う」等々いろいろなルールが入ってきます。これらのことが合わさって「まあ、これでいいか」と平和的に物ごとを決定することができます。さらにこの「まあ、これでいいか」をさらに詳しくしていくと、決める案件の重要性。時間。個々のこだわり。いろんな「条件」も出てきます。全部を理解することはもちろん難しいのですが、みんなで決めるとはこうしたことだ。というプロセスが子どもたちのスキルになっていきます。学習の中では、「グループの名前を決める。」「もし、みんなでカレーを作るとしたら」「もし、みんなでこれから遊ぶとしたら」等のお題を設定して子どもたちに「折り合いで決める話し合い」を指導している所です。普段自分の意見がなかなか言えないという子もいましたが、少しずつ自分の意見を言ったり、選択したりする力につなげていきたいと思っています。 中学年グループの名前を話し合いで決め、ボードにしました。



お知らせ

*** 前期個別指導計画・・・今年度は前期後期制の指導になっているので、9月末に前期のあゆみと一緒にお渡ししています。(緑色の台紙に添付)内容をご確認し、右下の記入欄に押印していただきあゆみと一緒にお戻しください。**

*** 後期の個別指導計画案・・・(通常の封筒)をお渡ししています。内容確認後、左下の保護者確認欄にを入れていただき学級までお戻しください。指導内容等に不明な点、確認したい点などがありましたら学級までご相談ください。**